

神戸港に寄港

クイーン・エリザベス

船内包む 女王の気品

神戸港・神戸ポートターミナル(中央区)に入港した大型客船「クイーン・エリザベス」(QE、9万9000ト)の船内が19日、報道陣に公開された。優に800人を収容する大劇場、社交ダンスが催されるシャンデリア付きのホール。こだわり抜いた内装や調度品は気品にあふれ、「海の女王」にふさわしい雰囲気醸していた。

(有島弘記)

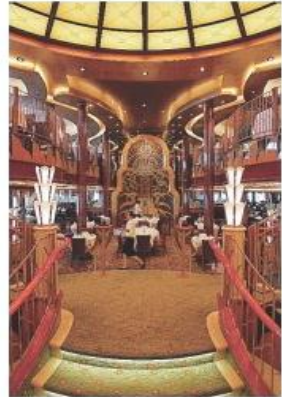
玄関にあたる「グランド・ロビー」は3層吹き抜けで各フロアを階段で結ぶ。壁には、ほほえむエリザベス女王を描いた油絵も。

QEは海面から高さ約57メートルの16階建てで、うち12階に乗客が利用できるラウンジやバブ、屋外プールなどを配置。船内は幾何学図形が特徴のアルデコで装飾し、総工費は約500億円に達する。

大劇場では、ミュージカルやピアノの生演奏が披露され、女王も着座したプライベート・ボックス席もある。

客室はカテゴリー別で、最高クラスの一室はベッドから外を眺められ、浴槽とシャワールームを備える。通常は立ち入り禁止の操舵室も公開された。運航するキューナード・ライン社(英国)初の女性キャプテン、インガー・クレイン・トールハウガさん(47)は突然の神戸入りに触れ「準備期間が短かったにもかかわらず、温かい歓迎を受けた」とたたえた。

QEは19日夜、韓国・釜山に向けて出港した。



二層吹き抜けの構造になった船内レストラン。乗客はゆったりと昼食を楽しんでいた(撮影・小林良多)

屋外プールや大劇場を公開



大勢の見物人に見送られ出港するクイーン・エリザベス(撮影・中西幸大)



QEを運航するキューナード・ライン社初の女性船長トールハウガさん。操舵などを行うブリッジでの仕事ぶりを報道陣に公開した(撮影・小林良多)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前

① クイーン・エリザベスの12階には、どんな施設が配置されていますか？

② 船内レストランは、どんな構造になっていますか？

③ クイーン・エリザベスの船内は、どのような雰囲気醸していましたか？

④ 記事を読んだ感想を書きましょう。